

山江村議会だより

まるおか

No.62

(区の宝：第10区)



①東浦白太鼓踊り



②新層稲荷神社



③息吹き墓



④道路改修記念碑と身代わり本像

写真の説明

- ①東浦白太鼓踊り：県重要無形民俗文化財
- ②新層稲荷神社：旧暦6月8日、12月8日が祭り
- ③息吹き墓：百日咳、喘息の病にご利益
- ④道路改修記念碑：大正14年4月に建立
身代わり本像：荷車の橋転落事故祈願のため置かれたもの

目次

- | | |
|------------------|------|
| ○平成28年第4回議会定例会報告 | P2～3 |
| ○一般質問 | P4～8 |
| ○議員活動の1コマ | P8 |
| ○だんだんなあ | P8 |

平成28年7月29日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

新教育長に藤本誠一氏を全会一致で可決!!

平成28年度一般会計・特別会計補正予算など全議案可決

平成28年第4回6月定例議会は、8日から10日までの3日間の会期で開催されました。今回提案されたものは、報告1件、承認8件、契約1件、人事同意2件、条例改正2件、平成28年度山江村一般会計・特別会計補正予算5件、発委1件など合計21件が上程されました。

8日に開会し、9日は5名の議員より一般質問、最終日の10日に、質疑・討論・表決を行ない、大平前教育長の退任による後任として新教育長には、前山田小学校長の藤本誠一氏が全会一致で、また、提案された全議案を原案どおり可決、決定し閉会しました。



教育長 藤本 誠一氏

平成28年度 一般会計補正予算

■歳入

【単位：千円】

科目	補正前額	補正額	合計	主な内容
国庫支出金	406,319	△48,787	357,532	社会資本整備総合交付金他
県支出金	187,335	5,832	193,167	地域づくり夢チャレンジ推進費補助金他
諸収入	12,683	1,019	13,702	災害見舞金他
村債	631,900	54,800	686,700	道路新設改良事業、公営住宅建設事業
歳入合計	3,377,000	12,864	3,389,864	

■歳出

【単位：千円】

科目	補正前額	補正額	合計	主な内容
総務費	518,936	18,709	537,645	移住定住推進費他の増
民生費	681,365	1,602	682,967	児童措置費他の増
衛生費	390,409	△11,079	379,330	保健衛生総務費他の減
農林水産業費	284,899	3,553	288,452	農村集落活性化支援事業費他の増
商工費	43,351	5,813	49,164	商工費、物産振興推進費他の増
土木費	347,812	△2,953	344,859	土木総務費の減
消防費	469,240	70	469,310	防災行政無線デジタル化事業費の増
教育費	216,163	2,597	218,760	学校管理費他の増
予備費	19,871	△5,448	14,423	予備費の減
歳出合計	3,377,000	12,864	3,389,864	

平成28年度 特別会計補正予算

【単位：千円】

会計名	補正前額	補正額	合計	主な内容
国民健康保険事業	581,000	375	581,375	システム改修委託料、外国療養費不正請求対策事業業務委託料
簡易水道事業	174,000	1,107	175,107	補助金減額による起債の増
農業集落排水事業	147,000	0	147,000	一般管理費と予備費の組換
介護保険事業	444,000	0	444,000	一般管理費と予備費の組換

こんなことが決まりました

(6月議会で可決した議案の一部の内容を紹介します)

◎山江村教育長の任命に関する同意

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て、任命することとなり、教育長の任期は三年とするもの。また、これにより7月1日からは平成26年法律の一部改正に伴い、教育委員長の職が廃止され、委員の職となるもの。

- 住 所：熊本県人吉市浪床町
- 氏 名：藤本 誠一
- 任 期：平成28年7月1日～平成31年6月30日

※主な経歴 平成6年4月～平成8年3月：熊本県教育庁体育保健課指導主事
平成14年4月～平成17年3月：多良木町立久米小学校長
平成22年4月～平成23年3月：菊池教育事務所長
平成23年4月～平成28年3月：山江村立山田小学校長

◎山江村防災行政無線デジタル化工事請負契約の締結

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を経る必要があるもの。

(※条例第2条では、議会の議決に付さなければならない契約は、予定価格の5,000万円以上の工事又は製造の請負とするとなっている)

- 契 約 金 額：2億7千54万円
- 契約者の相手方：熊本市中央区本荘6丁目17番21号 株式会社 九電工熊本支店

◎山江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

平成30年度の国民健康保険の財政運営の都道府県移行を見据え、税率の段階的引き上げに伴う保険税の一部を改正するもの。

(主な税引き上げ)

- 国民健康保険の被保険者に係る所得割額：10.00/100から11.60/100に改正し乗じて算定。
// 均等割額：22,500円から25,000円に改正。
- // 後期高齢者支援金等課税額の所得割額：2.20/100から2.60/100に改正し乗じて算定。
■ // 均等割額：6,000円から6,800円に改正。
- 介護納付金課税被保険者に係る所得割額：2.80/100から3.20/100に改正し乗じて算定。
■ // 均等割額：8,000円から9,400円に改正。 など他

◎山江村議会傍聴規則の制定

議会本会議（議場）における傍聴人の傍聴に関する規則であるが、山江村議会傍聴人規則は昭和22年8月27日に制定されたままであり、内容を現状にあったものにするために、新しく規則を制定するもの。

主な内容（議場）

- ・傍聴席の定員は35人とする。
- ・携帯電話や写真機等の持ち込みはできない。
- ・下駄、木製サンダルの類を履いての入室はできないなど

5人が村政を問う!!

(一般質問)

質問順	議員氏名	質問事項	ページ数
1	西 孝 恒	○本村の震災対策について ○榑やまへの経営状況について	4ページ
2	松 本 佳 久	○「山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略」について ○「熊本・大分大震災」について	5ページ
3	立 道 徹	○丸岡公園管理委託について ○山江村の農業・林業について ○榑やまについて	5~6ページ
4	森 田 俊 介	○万江川・山田川的环境対策と稚魚放流について	6~7ページ
5	横 谷 巡	○災害及び緊急事態における危機管理と防災対策について ○榑やまへの経営状況について	7~8ページ

答弁 役場の備蓄倉庫に1794食備えていたが、熊本地震等へ1323食を回した。非常食以外の生活物資も備蓄している。今後の計画は熊本地震も教訓に必要とする物

質問 非常食や水の備蓄状況と計画について。

答弁 役場庁舎は昭和56年以前に建築されているが平成22年に耐震化工事をしていて。学校では昭和56年度以前の建築は山田小だけであるが平成20年度に耐震化工事をしていて。自然休養村管理センター、尾崎崎キヤンプ場の耐震化工事はできていない。公民館は23カ所中11カ所が改正前の建築である。

質問 役場庁舎や公共施設の耐震基準適合状況は。

本村の震災対策について



西 孝恒 議員

※議会だよりは、文字数が限られているため、一般質問内容のすべてを掲載していません。

資は早急に購入していききたい。

質問 熊本地震では多くの役場庁舎が使えなくなったが、本村の対策について。

答弁 役場庁舎は耐震化工事をしていくが、今回の熊本地震では震度7が2回起きていて。国において耐震基準が見直されるのではと考える。その上で対応策を考えたい。

質問 避難行動要支援者の登録制度等、現在の状況は。

答弁 村内の対象者は平成28年3月現在で440名おられるなかで36名登録されており関係機関へも状況提供を行っている。

質問 要支援者の方の避難先や施設について。

答弁 特別な指定避難所は設けていないが、山江老人保健施設と協定を結んでいる。近隣市町村との連携を図りながら検討して行きたい。

質問 土砂災害防止法に伴う基礎調査結果説明会後の動きについて。

答弁 村内6会場に住民説明会を開催した。県が進めるレッドゾーン区域外への移転とする取り組みについての相談は今のところない。

質問 危険箇所にある避難場所は指定解除になつていて、万江地区は1カ所だけであるが、その対策は。

答弁 緊急避難場所は山田地区16カ

所、万江地区は1カ所であるが山田地区避難所にも避難してもらうことになる。

榑やまへの経営状況について

質問 平成27年度3月分のみ損益額及び平成27年度合計の当期損益額について。

答弁 3月分は108万5千円の収益黒字、平成27年度を通じた損益額は819万8千円の損失赤字を計上している。

質問 リニューアルオープン後の、この結果についての見解は。

答弁 平成26年12月11日リニューアルオープンしている。平成26年度は51万円の損失であるが、平成27年度は先ほどの結果で厳しい状況と認識している。

質問 今後の改善対策や計画について。

答弁 施設の老朽化に伴い漏水箇所など改修も必要、現在役場の担当者が再建担当として経営改善のため、更に詳細な分析をやるなかで様々な改善の余地もわかった。また物産館の山田店は年間300万円の赤字分析により、今年6月末で閉店準備を進めている。部門ごとの経営についてつづきにもう一度洗いなおして状況を見極めていく。

一般質問



松本 佳久 議員

山江村地方創生活 総合戦略について

質問 山江村地方創生活総合戦略はどのように展開していくのか？

答弁 平成27年度の事業は①総合戦略・人口ビジョン策定②プレミアム商品券・タクシー券の発行③東京大学との山江栗ブランド化研究④学校給食地場食材拡大⑤その他の事業を実施した。平成28年度は1000人委員会や地域づくり研究所の活動など、村民の動きを積極的に支援して目標達成に向かっていく。

質問 目標人口30000人の実現と、仕事の創出についてはどのような計画か？

答弁 策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、村民・役員・外部専門家が一体となって実施していくもの。雇用については、栗の生産高を増やし加工するなど6次産業化を目指し、栗以外の地域資源

についても生産・加工・流通を進めていく。農業の集落営農や法人化によっても、生産高が伸び雇用も期待できる。公営住宅の建設と宅地分譲にも取り組み、空き家バンクは早期に開設する。文化財や自然の活用では、フットパス（散策路）の整備に取り組み、山江村ファンを増やし、物産販売へつなぐ。

村長 学校給食の山江村産食材比率を高めるために、6月中旬に給食コーディネーターをお願いし、7月から学校現場、農家、教育委員会を結びつける仕事をして頂く予定。都会では1ピース1000円以上の栗洋菓も育成したい。子育て支援の予防接種補助については、成人の胃がん検診やピロリ菌検査等も含めて、予防医療の面からも総合的に改善してい



万江地区集落営農検討委員会の様子

く。住みよい村づくりを進めていけば、必ず魅力ある山江村が実現する。

川内原子力発電所の 稼働停止について

質問 原子力発電は早期に稼働停止するべきだと考える。特に熊本地震以降、原発事故を心配する声が高くなっている。村長の考えは？

答弁 福島原発の安全神話は地震・津波でもろくも崩れた。将来は原発に頼らない代替エネルギーが必要なので、山江村でも調査検討委員会を

発足させる。熊本県内の放射能測定器は県庁、宇土市、八代市、水俣市に設置済み。村民の安全対策については、しっかりと取り組む。

提案 川内原発事故が発生すれば地域創生も山江村も山江村民も、何もかも吹っ飛んでしまう。私たちは未来の子どもたちから再生可能なクリーンエネルギーの確保を求められている。美しい山江村を永遠に残すために、村長も議会も何らかの行動を起こす時ではないか。備えあれば憂いなし、今できることを精一杯実践し、未来の山江村がさらに光り輝く村となる事を切に願っている。



立道 徹 議員

丸岡公園の管理委託について

質問 昨年の予算に比べ、今年予算の増額について

答弁 1年間の管理について人吉市

質問 委託された方は、専門業者なのか。

答弁 造園業である。

質問 専門家（業者）は、造園施工管理技士の免許を持っておられる方か？

答弁 本人は、持っていないが家族の方が持っている。

質問 7つのブロックに分けて見積もりをされたのか？

答弁 7つのブロックでそれぞれ面積を出して、草の種類等により、歩掛りを変えて計算している。

質問 シルバー人材センターには、見積もり依頼はあったのか？

答弁 造園の免許を持っている方がいなかったため依頼していない。

農業・林業の独自の振興対策について

質問 山江村独自の振興対策は？

答弁 農業に対して、粟・ゆずの苗木の購入補助、土壌改良、肥料の購入補助、鳥獣被害対策の資材・設置費用の補助、耕作放棄地の再生のための整地・作業路の整備の経費、優良品種の改植の経費補助、また、新



鳥獣被害対策電気柵の設置

規作物であるミシマサイコ導入に対する資材の経費補助をしている。畜産については、肉用牛・乳牛飼養農家へ基金の貸付、優良家畜の保留奨励金、増頭に対しては、補助制度を

本年度から制定した。林業に対して、タケノコ・わさび・花木への鳥獣被害防止対策の電気柵・ネット設置の経費補助、球磨人吉の木材を使用した住宅または建築物の新築・増築・改築の場合は、使用率に応じた補助を行っている。従事者の支援対策として、機械・器具購入に対する補助も行っている。今年度より、農林産物の所得向上及び安心・安全な作物栽培を推進するために学校給食等の地産地消を進め、遊休農地の解消及び後継者不足を考慮、万江地区を集落営農へと推進し、設立に向け計画している。

農業委員会の改組について

質問 どのように改正されたのか

答弁 農業委員が農業の大規模化や活性化に積極的に取り組むことを促す方向を打ち出した。選出方法を公選制から、市町村長による任命制へ意欲的な委員を選べるようにした。業務の柱として農地集積や耕作放棄地の発生防止を進める。地域農業の

将来を見据え、業務に積極的に取り組む委員を選出できるよう、市町村議会の同意を得て任命する制度となる。また、委員の過半を原則として

地域農業の担い手である「認定農業者」とし、中立的な立場の意見が反映されるよう農家以外を1人入れ、女性や若者も積極的に登用することも求めた。農地集積・耕作放棄地の発生防止はこれまで任意の業務であった。改正で、必須業務とし、委員の定数を減らし、「農地利用最適化推進委員」を新設し、現場での活動をする。平成28年4月1日より施行される。当村では、平成29年7月からとなる。

囲炉裏の再設置は

質問 本年度予算に計上されているのか？



森田 俊介 議員

答弁 200万円計上している。設置場所は検討中であり、現場との協議を行い進めていく。

質問 経営コンサルタントの是正・指導後の状況は？

答弁 今年の1月26日から30日にかけて、過去5年間の決算書・財務諸表のチェック、役職員の面接を行い、その結果、赤字は、加工部門のみでその他の部門は、ほとんど赤字であり、「会社は、既に倒産の状況である」と指摘をされた。各部門ごとどんぶり勘定であった。山田店は、6月末で閉店し、再建担当として役員職員を常駐させ、経営分析、原価計算、職員シフト等を徹底させ改善して利益向上のために努力していく。

前号(61号)の「株やまへの経営状況について」の答弁文に、一部記載誤りがありました。
「利益(質問)なぐる」を「利益にもつなぐる」に、「答弁」年間」を「て、半年間」に訂正します。

万江川・山田川の水環境対策は

質問 万江川、山田川の危険水位の基準の目安は？

答弁 山江村自体には、水位の状況を確認するシステムは整備されていない。

一般質問

質問 砂利等の除去の平成28年度の計画は？

答弁 平成28年度の要望は、万江川の城内、柳野、平山、屋形、吐合地区で、山田川は古賀橋の上下流、長ヶ峰地区を県へ要望している。

質問 万江川の自然状況が大きく変化しており、魚の減少、ほたるが見当たらない状況。高速道路排水の夕イヤ粉じん、油の排水や各家庭の浄化槽排水など万江川に流れ込むが、そのような原因の調査は？また、山田川でも湯の原地区の砂利採取場からの大雨時の砂利の流れ込はないものか、調査の考えは。

答弁 高速道路等の路面の排水等、今後検討して調査を考えていきたい。

稚魚の放流の対応は

質問 稚魚の放流に球磨川漁協へ24万円が予算計上してあるが、負担金の内容は何年ごろに変更になったのか。

答弁 昭和45年11月26日に締結し、24万円分の稚魚アユを毎年万江川へ放流するものとなった。

質問 ヤマメ生産組合への毎年15万円の負担金はいつ頃からか？

答弁 平成5年頃から、自然環境の保護と産業の振興を図るという目的で毎年15万円分のヤマメを買い取って、万江川へ放流をしている。

質問 山田川への放流は？

答弁 村では山田川への放流はしていない。球磨川漁協は、今年は万江川の屋形地区のほうへ115キロ放流している。今後、確実な稚魚の放流と確認の立会いを求めていく。

質問 一般の人は遊漁券が高く、川は家の前を流れていても何も出来ない状況。村民に対して何か得になるのか？遊漁券の助成をしたらどうか。

答弁 県の許可を受けて漁業規則が定めてある。魚をとられる方、とられない方のバランスもあり、検討が必要である。

質問 平成28年山江村未来塾が発



アユ稚魚の放流

足。万江川、山田川を守る会を発足しては？

答弁 村民の方でやるといった、政策的なものが支援できるということであれば、村としても積極的に支援をしていきたい。また、球磨川漁協でも、河川を活用した活性化の取り組みを考えているようで、万江川に梁を作ったらとの話もある。



横谷 巡 議員

災害及び緊急事態における危機管理と防災対策について

質問 本村における災害など緊急事態発生時の避難勧告等の具体的な発令基準と伝達方法はどのようになっているか？

答弁 地域防災計画で規定し、発令基準については注意喚起、避難の準備情報、避難勧告、避難指示の基準を設けている。伝達方法は、防災行政無線、ケーブルテレビ、携帯メー

ルサービス、SNS等、複数の伝達手段で村民へ伝えるようにしている。

質問 通常の避難所である公民館の再点検と見直し、学校施設等の避難所指定、自主防災組織や住民の災害に対する意識の醸成と災害への備えを図る必要があると思うがどうか？

答弁 避難所の再点検と見直しは必要と考えている。住民に対しては行政区ごとの防災マップを作成し、啓発と醸成を図るようにしている。

質問 災害時に一番必要とする水の確保、そのライフラインである簡易水道施設の管路及び配水池水槽の耐震化の状況はどうか？また問題点はないか？

答弁 水道施設の管路の耐震化については随時整備を行い、常時1100トンの飲料水を確保している。問題点としては第1、第2、第3配水池水槽の耐震化への整備、尾崎地区と万江地区13、14区の管路の耐震化の整備が必要と考える。

質問 震災やゲリラ豪雨等の想定外の自然災害を含め、本村を取り巻く環境の変化や実態との隔たりから、村民の生命と財産を守るための重要な計画である防災計画の見直しをする考えはないか？

答弁 今回の熊本地震のように想定外ということで、今までの防災感覚だけでは村民の生命と財産は守れない。防災マップの作成、危機管理官

の設置など事態に応じた防災計画を策定していきたい。

（株）やまへの経営状況について

質問 ㈱やまへの平成27年度の決算は赤字か赤字か？

答弁 平成27年度の決算状況は800万円の赤字である。

質問 多額の財源投入と人事一新したにも拘わらず結果が出ていない。今後、改善策を進める中で、経営改善の目処が立たない場合、会社のあり方と方向性を含め、抜本的な改革の断行が必要と考えるが、その場合の方向性をどのように考えているか？

答弁 各担当部長等に、経営改善の方向が見えなかつたら、その数字については責任を取ること。また、結果によっては第3セクター経営から手を引くと言っている。しかし、村の重要な産業、福祉、観光の拠点であり、第3セクターでやれるところまでやってみよう。チャンスをおいて、再度立て直しに努力をしていきたい。

質問 物産館で生産、加工している栗にちなんだ特産品の状況はどうか？台風被害による栗の原材料不足はないのか？栗が足りないということでは「もちっこ」という新たな商品への

取り組みの経緯について伺いたい？

答弁 現在、栗まんじゅう、びつくり団子、栗ようかん、栗きんとん、袖マロンを製造販売している。台風被害による原材料の不足は否めない。新商品として「もちっこ」に取り組んでいるが、これは将来的に栗と袖を使った特産品を生み出すための基礎となるような商品である。

質問 物産館山田店を6月末で閉めると言うことであるが、地方創生の一環として、住民の安心な暮らしと地域の活性化に繋がるような跡地の利活用はできないのか？

答弁 ㈱やまへの赤字が800万円で、そのうち300万円は山田店が赤字をだしている。住民サービスが落ちるが背に腹は替えられない。施設の利活用については、今後も諸々と考えていきたい。

提案 この度の想定外の熊本地震、震度7の大地震に2回も遭遇し、未曾有の大惨事となりました。当たり前前の日常生活が当たり前でなくなる現実、自然災害の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。私たちの地域にも湯前から人吉まで延びる人吉盆地南縁断層と言う活断層が存在し、震度7以上の地震を起こすと推定されています。常日頃からの災害に対する危機管理と防災対策の備えを考える機会にしたらと思います。

「議員活動の1コマ」

4月27日に開催された山江未来塾（100人委員会）の初会には、多くの村民の方々と共に各議員も参加しました。この委員会は、多くの方々との語り合い、村の未来の創造とその実現に向けた村民の行動を起こす目的があります。今後は、各議員も各テーマ（部会）に分かれての検討を村民と一緒に、自由な意見交換や提案などを行っていきたくと考えています。



山江未来塾（100人委員会）初会



各ブロックでの意見発表

だんだんなあ

今年は一月に大雪に見舞われ、四月には未曾有の大地震が発生し、県内に多大なる被害を与え、尊い生命・財産を奪われました。一日も早い復興を念じ、亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。

さて、7月に行われた参議院議員選挙では、初めて18歳以上に選挙権が与えられました。18歳、19歳の投票率は全体の45.5%に止まり、半数にも達していない。選挙に対する若者の世論調査によれば、
・戸惑い、不安がある。
（政治についてわからないから）
・どの政党、候補者に投票すべきかわからない。
興味があることは、
・就職
・年金・介護等の社会保障と税負担
政治への考え方は、
・自分たちの生活に大いに関係があるなど
選挙に対して関心がある反面、判断できないなどの意見のようだ。
我々議員も議会活動とおし、色々なところで周知していくことが、政治参加と投票率を上げるカギではなからうか。

（文責 立道 徹）

【議会広報編集委員】 委員長／立道 徹 副委員長／森田 俊介 委員／西 孝恒・赤坂 修